

平成24年3月 岡山市教育委員会定例会 会議録

1 開催日	平成24年3月22日 (火曜日)		
2 開会及び閉会	開会	14時00分	
	閉会	16時40分	
3 出席委員	委員長	柳原正文	
	委員	渡辺勝志	
	委員	塩田澄子	
	委員	曾田佳代子	
	委員(教育長)	山脇健	
4 会議出席者			
職名	氏名	職名	氏名
教育次長	森本茂	教育次長	水野博宣
統括審議監	鈴木康義	審議監(学校教育担当)	福島治子
次長(教育企画総務課長)	大川泰栄	次長(人事財務課長)	佐々木辰昭
学校施設課長	佐々江一男	学事課長	山本孝治
就学課長	寺尾信彦	指導課長	天野和弘
指導課教育支援担当課長	岡村富廣	指導課人権教育担当課長	福江建二
次長(保健体育課長)	渡辺和夫	生涯学習課長	丸川康一
文化財課長	乗岡実	スポーツ振興課長	三宅修司
事務局(教育企画総務課課長補佐)	高木宏	事務局(教育企画総務課主任)	柳沢つばさ
5 議題及び結果			
報告第6号	岡山市教育委員会教育長の給与に関する条例の一部改正について	承認	
報告第7号	平成23年度岡山市一般会計補正予算(第6号)案(スポーツ振興課を除く)への同意について	承認	
報告第8号	平成23年度岡山市一般会計補正予算(第6号)案(スポーツ振興課分)への同意について	承認	
第7号議案	岡山市スポーツ振興計画の策定について	承認	統括審議監
第8号議案	岡山市立幼稚園規則の一部を改正する規則の制定について	承認	原案可決
第9号議案	岡山市教育委員会の主要な事業の決定について	承認	原案可決
6 教育長等の報告 [平成24年2月11日(土)～平成24年3月9日(金)]			
2/25	幼稚園の先生と遊ぼう		文化財課
2/26	親子環境学習フォーラム2012		生涯学習課
3/3	ミニコンサート		文化財課
3/6	お話し玉手箱		文化財課
塩田委員 生涯学習課長	○ 親子環境学習フォーラムは定員があつての20家族か。		
塩田委員	○ 毎年このくらいの参加で定員は設けていない。		
塩田委員 生涯学習課長	○ 内容は。		
	○ 建部の自然とのつながりの中で、いろいろな自然のものを使用して、例えば竹の食器をつくったり、埋蔵文化財センターでアユモドキを飼育している話や地元竹枝小学校でPTAの方が川の清掃等をして自然を大切にしている実践的活動の発表や意見交換を行ったりした。		
曾田委員 教育長	○ ESDと絡むのか。		
	○ ESDの視点は持っている。建部中学校の生徒が発表して一緒に話し合う等、銘打っていないが内容はESDといえる。		
渡辺委員	○ 他のものは内容が就学前の児童を対象としているが、文化財課が担当しているのは八角園舎を使用しているからか。		

文化財課	○ 指摘のとおり八角園舎は国指定の重要文化財建造物であるが、もともと幼稚園であったので、活用をはかるといってこういう活動をおこなっている。
7 議 事 の 大 要	
委員長	○ 3月定例岡山市教育委員会を開催する。
委員長	○ 本日の傍聴希望者は1名。傍聴を許可してよいか。
全委員	<承認>
委員長	○ 傍聴を認める。
委員長	○ 日程第1、会期は本日1日限りとしてよいか。
全委員	○ <承認>
委員長	○ 日程第2、2月定例会の議事録に問題はないか。
全委員	○ <承認>
委員長	○ 日程第3、教育長等の報告について質問はないか。 (会議録6「教育長等の報告」に記載)
委員長	○ 次に会議の公開、非公開について諮る。日程第5の第10号議案は、任免、賞罰等職員の身分取扱いその他人事に関する事項として会議規則第9条第1項第1号に該当するため非公開としたいと思うがいかがか。
全委員	<承認>
委員長	○ 日程第4、報告第6号を説明願う。
人事財務課長	○ 説明(報告第6号)
委員長	○ 質問はないか。
委員長	○ 報告第6号を承認してよいか。
全委員	<承認>
委員長	○ 日程第4、報告第7号を説明願う。
人事財務課長	○ 説明(報告第7号)
委員長	○ 質問はないか。
渡辺委員	○ 準要保護等児童・生徒の用語の解説を。
就学課長	○ 経済的理由により就学が困難な児童・生徒の保護者に対して扶助費として、また特別支援学級に通学する児童・生徒の保護者に対して行う援助、いわゆる就学援助を行うものだ。
委員長	○ 見込みより少なかったのはなぜか。
就学課長	○ 当初の予定では小学校で6,900人としていたが、実際6,416人で480人程度少なかった。特に就学援助の場合は給食費一食当たり85万7600円余り、新入学学用品費で558万円、学用品で292万円とかなり大きな額が減額になった。
曾田委員長	○ なぜ減ったのか。一般的に考えると、世の中不景気で申請が増えそうだが、見込み過ぎていたのか、基準が厳しくなったのか。
教育長	○ 昨年まで補正予算で対応していたが、今回は昨年度見込み程度を当初で予算措置した。
曾田委員長	○ 昨年度との比較は。
就学課長	○ 22年度と比較すると小学校は若干減少、中学校は微増。具体的な数は小学校は22年度6,606人、23年度は6,324人。中学校では22年度3,474人23年度では3,577人となっている。割合で言うと小学校22年度では16.72パーセント、23年度では16.23パーセント。中学校では22年度では18.64パーセント23年度では19.05パーセントになっている。
委員長	○ 小学校でパーセントが減っている理由は。
森本教育次長	○ 認定基準は所得基準額を上げているのでむしろ門戸を広げている。周知活動も充分に行っている。減少の理由ははっきりとはしない。
渡辺委員	○ 要保護とは。
就学課長	○ 要保護はいわゆる生活保護世帯で準要保護はそこまではいかないが、それに次ぐようなものだ。生活保護世帯には全て福祉のほうで支援している。ただし、修学旅行分はこちらで行っている。
委員長	○ 要保護の数値の変化は。
就学課長	○ 福祉のほうから資料をもらう。
委員長	○ 要保護の数値の動きと併せて考えると、そこに答えがあるかもしれない。
曾田委員	○ 繰越明許の理由は。
学校施設課長	○ 国の3次補正で予算がついたので24年度で行う予定にしていたものを前倒しで扱うことになった。
人事財務課長	○ この時期なのでとても3月までに完工出来ないが、予算はこの時期に取らざる

塩田委員
教育企画総務課長

指導課長

委員長
指導課長

塩田委員
人権教育担当課長

委員長
全委員
委員長
スポーツ振興課長

委員長
委員長
全委員
委員長
スポーツ振興課長

委員長
スポーツ振興課長

委員長
全委員
委員長
就学課長
委員長
就学課長
委員長
就学課長
渡辺委員
就学課長
委員長
学事課長

委員長
学事課
渡辺委員
教育企画総務課長
委員長
全委員
委員長
教育企画総務課長
委員長
教育企画総務課長
委員長
教育企画総務課長

を得ないので年度を越してしまうので繰越明許を行うものである。

- コンピューター整備費、外国語指導助手委託料の入札残が大きいようだが。
- コンピューター等については仕様書で機種、ソフト、内容等を明確に定めてあるので品質が劣るものではない。今回641台約5年間分を入札ということで当然市役所内のコンピューターを専門に扱う部署である情報システム課と相談し設定価格を決めた。こういったものの競争が激しいせいなのか設定より非常に安く購入できた。だいたい一台あたりにすると1万円も変わらないがその程度安くなってこの金額が入札残として計上されている。
- 外国語のほうだがこれはALTを中学校区に38人派遣していくという事業だが、これも一般競争入札を行ったが入札の段階で明確な理由を把握しているわけではないが昨年度2社入札を行ってそのうちの1社の方がかなり安くしなければ落札できないだろうと思ってがんばったようだ。
- ALTはなぜ業者を介して行うのか。他の自治体でもそうなのか。
- 業者に委託している所もあればジェット・プログラムといったものを使用している所もある。人員の確保とか欠員が生じた場合に補充を行うということがなかなか困難であるので公募を行っている所は少ないようだ。仕様書には資格要件を明確にしている。
- 人権教育推進費で研修講師謝礼の不用額が出ているのは。
- これは研修だけでなく講座も行って段階的に減らしている部分があり不用額が出ている。
- 報告第7号を承認してよいか。
<承認>
- 日程第4、報告第8号を説明願う。
- 説明（報告第8号）
- 質問はないか。
- 報告第8号を承認してよいか。
<承認>
- 日程第5、第7号議案を説明願う。
- 国の方針によりこれからいくらかの調整が必要となるので4月以降に継続審査でお願いしたい。
- 24年度開始だが4月以降の議決で問題は生じないか。
- 問題ない。
- 第7号議案を継続審査としてよいか。
<承認>
- 日程第5、第8号議案を説明願う。
- 説明（第8号議案）
- 毎年度改正しているのか。
- はい。
- 園児数の見込に合わせて改正しているのか。
- はい。
- 大宮幼稚園は。
- 休園になる。
- 学級数の変動は。
- 235学級から224学級で11学級減少している。ことばの教室は変更なしだ。
- 人員はどのようにして調整しているのか。
- 次年度はもちろん長期的な採用計画を立てて退職、採用を行っている。
- ことばの教室であるということが条文でも判らないようだが。
- 次回、改正までに整理を行う。
- 第8号議案について原案どおり可決してよいか。
<承認>
- 日程第5、第9号議案を説明願う。
- 説明（第9号議案）
- 2ページの学校給食の充実も変更するのか。
- 内容を変えたものは体系図にも反映させていく。
- 昨年と比べて発達障害児支援事業とあったのを発達の部分をとった理由は。
- 昨年は特化してそれを示していたが今回はそういったことも含めて大きな一つの事業としている。支援員の体制というのが発達障害児に特化して配置されているのではなく多くの場合は肢体不自由の子ども達例えば車イスの子ども達への配置ということになるので今回は本来の事業名に戻している。

渡辺委員
保健体育課長

- 給食の安全とか衛生管理の徹底とかはどうなるのか。
- ここで挙げている食育の概念的なもの、安全衛生管理、運営の見直しというところは給食の運営検討委員会の提言に出された3本柱で、これを満遍なくやろうということでもずっと挙げていた。ところが今回の議会でも民間委託をどうかという質問が出た中で、従来からずっと取組んでいるし、これからも引き続いて取組むものとして、安全衛生管理も当然あるべきものとしてとらえていくことにして、特に力を入れていく重点としては食育ではないかとそういった視点で今回食育に特化していくことにした。

渡辺委員
保健体育課長

- 大前提であり当然のことということか。
- 当然安全管理、衛生管理という点と給食の運営見直しという点は、学校給食運営検討委員会の提言の方に残っているので、そちらをバックに進めていく。重点的に取り組むものとして食育をピックアップしていこうという趣旨だ。

曾田委員

教育支援担当課長

- 特別支援教育について「就学支援シート」と「個別の指導計画」とのつながりだが現在は小、中積み上げて持っていつているのか。
- 今は幼稚園から小学校に上がる時に特別支援学級に入る子どもについて保護者の方と幼稚園と話をし、就学支援シートを使用して小学校の先生のところを持っていくというかたちで、配慮事項を伝えることをしている。それをいかに個別の指導計画につなげるかということは、今は特別支援学校の先生や指導課の職員でグループを作り、資料作成を進めている。今年度から来年度に向けてリーフレットを作成する。

曾田委員
教育支援担当課長

曾田委員

- リーフレットが出来る段階ということ。
- 全小学校全障害のある子どもが支援シートを使用しているという段階ではない。
- 個別の指導計画の作成の方は必要だとは認識している。就学時だけでなく必要だと思いで、早めに作成してつなげていくように。

委員長

- いろいろな機関がいろんなものを作成している。労力の無駄だ。もっと連携して情報共有が出来ないかということが課題だ。岡山市の発達障害者支援センターは、まだそういったことをしていないし、もっと横の連携が取れたらと思う。

曾田委員
教育企画総務課長

- この冊子は校舎長会で配布したり、ダウンロードとかもできるのか。
- 教育企画総務課のホームページに掲載していて要覧と同様にダウンロードもできるようにしている。

曾田委員

- 実際現場はどのくらい見ているのか。広島県では採用試験のときに、ダウンロードも出来るのだろうけれど500円で教育資料として販売している。採用試験を受験する人はこれを読んでいかないと困るようだ。普通はプレ研修か新採用研修でそういうものをするのだろうけれど、広島県はこういうものでそれに賛同するものが受験しなさいということなのか、予習をして採用試験を受けるというシステムになっている。広島では教員が一人一冊持っている。みんなにもっと知ってもらいたい。

教育企画総務課長

委員長

- 要覧、主要な事業、岡山っ子育成条例のパンフレットは全てダウンロードできるがどのくらい浸透しているかは把握できていない。
- 14ページ文化財課の千足古墳ところで、去年は整備事業であったものを保存措置に変更したのは。

教育企画総務課長

- 今年の大きな目標としては、取り出した石障を埋蔵文化財センターでゆっくりと時間を掛けて剥離をとめる措置をしているのでこういった表現になっている。

委員長

教育企画総務課長

- 文言で13ページのスポーツに親しむ環境づくりだけ体言止めになっていない。

委員長

- 修正する。
- それぞれの担当課を明記するようになっているが、わかりやすい反面それぞれの課が勝手にやっている印象を受ける。課を横断的に取組んでいるという感じを受けない。

教育企画総務課長

- 去年は担当課の記載があるほうがわかりやすいとの指摘があった。学校現場にはわかりやすくなっている。

委員長

教育企画総務課長

- 事業の仕分け作業はいつ誰がやるのか。
- スクラップアンドビルドは基本的にはその事業を熟知している担当課が自ら行っている。さまざまな必要性を全体の中で考え新しい事業を起こしていく場合もある。

水野教育次長

- 高谷市長になってから行政サービスの棚卸しといったことをしている。ここにあげた事業をさらに細かい事業にして、それを各局が自己点検し、点検結果をまた行革が再点検しフィードバックをすることを毎年行っている。7年やってきたのでスクラップアンドビルドのスクラップの方は進んでいると認識している。これは永続的にやっていくものだ。それから今作成に取り掛かっている教育振興計画ここでは政策施策事務事業といった体系のもとにアウトカムを設定し、アウト

<p>曾田委員 水野教育次長</p>	<p>カムを充分念頭において棚卸しをやっていこうという構想ですので引き続き強力に改善を行っていく。</p> <p>○ 今は教育行政審議会は廃止されていると思うが、そういった第3者的な目で見るといえるのは。</p>
<p>教育企画総務課長</p>	<p>○ まずは各局での自己点検といったことが大事だ。教育委員会では人事財務課が財政的な面から複数の側面を持って検討している。今のところ第三者によるチェックはないが、あえて言えばまさに教育委員に大所高所の視点で見ってもらうことになる。岡山市の審議会というものは非常に膨らんで審議会任せといった傾向になってしまっていた。今回行革でも審議会の設置基準等の見直しをして、休眠化してしまっているものや、目的を達成したものを廃止した。その根底にあるのは行政主体が市民の視点を持って点検し、そのうえで外部の人の目も必要ならば取り入れていこうと、その土台が薄かったのではないかと反省し、その方向で教育委員会事務局もがんばっていこうと考えている。</p>
<p>曾田委員</p>	<p>○ 教育委員会の場合は地教行法の改正により事務の点検評価を義務付けられているので、終わってからにはなるが第3者の方に評価をお願いして事業全体を見てもらっている。</p> <p>○ 今回「ストップザ学校問題」で「共に成長し合う学級集団づくり推進事業」が出てきている。一方では、知・徳・体の知の部分、例えば学力向上の部分である学力アップ事業のところに、学びの集団づくりの視点とか文言が一行もなかった。実際は行われているんだろうけれど 関連性が言葉に表れていない。学びの部分にも集団づくりの視点があるのではないかと。来年度以降になるかもしれないが。</p>
<p>塩田委員 教育企画総務課長</p>	<p>○ この冊子は校長会で配布する以外にはしていないのか。</p> <p>○ 校長会で配布する以外は市民文教委員には配布しているが、それ以外はこちらから送付といったことは行ってない。</p>
<p>塩田委員 保健体育課長</p>	<p>○ 内部でわかっているれば良いこともあるが、学校がこういったことを取組んでいるということを細部の教職員まで周知できていないのではないかと。</p> <p>○ もちろん校長から各教職員に伝わるということは当然のことだが、食育のところは学校栄養士、栄養職員がかなり高いウェイトを占めていると考えていて、栄養職員だけの研修会等も含めて、今年度の重点的な取り組みとして説明を個別に行っている。もちろん運営検討委員会でも議論をして、そこで出した今年度の目標とか衛生管理とか運営の見直しとかを含めて、項目別に立てている年度目標も各学校の栄養職員には周知している。それに基づき全体計画をたてている。</p>
<p>塩田委員</p>	<p>○ 内部では各学校で上から下に周知を行っているし、各課毎の研修等でも内容の周知を行っていることは理解できた。外部にも市民の目に触れるように積極的に情報発信を行うべきだ。</p>
<p>委員長 教育企画総務課長 委員長</p>	<p>○ 公民館長に配布を行っていないのか。</p> <p>○ これまではやっていない。</p> <p>○ 学校教育、家庭教育、社会教育といいながらも中央公民館がかかわるような事業があるなら、せめて公民館長ぐらいまでには配布できないのか。</p>
<p>教育企画総務課長</p>	<p>○ 手作りで印刷から製本まで行っているのだからたくさんは出来かねるが公民館の配布は考えていく。</p>
<p>渡辺委員</p>	<p>○ 9ページのストップ・ザ学校問題「学校問題解決サポート事業」だが、この表現だと、学校をサポートする事業で学校が弁護士等に相談する事業だということがわかりにくい。</p>
<p>教育支援担当課長</p>	<p>○ 窓口で相談にこられる方は必ずしも学校だけではなく保護者もありうる。公平中立の立場で早期解決の案を提示することで、学校がいつまでも大変な事案を抱えたまま時間がたってしまうのではなく、早期解決という形で学校を支援するものだ。</p>
<p>渡辺委員</p>	<p>○ 学校も相談できて、学校のサポートを行っているといった事業名にしたほうが良いのでは。</p>
<p>塩田委員</p>	<p>○ 両面あっても、ここでの事業は学校を守るほうの事業であって、学校サポートになるのではないかと。</p>
<p>教育支援担当課長</p>	<p>○ 前回の市民文教委員会で「専門家からなるサポートチームを設けて学校を支援する新たな体制作りを行う」といった表現で説明を行った。文末の表現を変えれば良いかなと思う。</p>
<p>教育企画総務課長</p>	<p>○ もちろん保護者の相談も受けるし学校からの相談も受けるといった広く窓口を設置するということではあるが、最後はやはり学校を支援するというのが目的なので学校の支援をするという意図が明確に伝わるように表現したい。</p>
<p>曾田委員</p>	<p>○ 文言と共に校園長会で新規事業として説明する時にこういった活用の仕方をしてほしいとっておけば良い。もちろん保護者から相談を受けても結果的には学</p>

委員長	校が安定することにつながる。
教育企画総務課長	○ 2 ページの全体の体系図の主な事務事業についてだが、昨年からの継続事業と新規に追加されたものとの区別がわかるように記載してほしい。
委員長	○ 体系図の中でも新規のものがわかるようにする。
教育企画総務課長	○ 最後に先ほどの棚卸しの件で、24年度からは予算要求の前にいろいろな事業の説明がされるということなので、この委員会の中で棚卸し的なことが出来るのではないかと考える。
委員長	○ 昨年度は報告が少し遅くなったので、整理を行いこういった全体的な体系を出す前に協議会等で検討してしっかり反映させていこうと考えている。
全委員	○ 第9号議案を原案どおり可決してよいか。
委員長	<承認>
	○ 第9号議案を原案どおり可決する。

傍 聴 の 状 況		
報 一	道 般	1 名 名

平成24年3月 岡山市教育委員会定例会（非公開） 会議録

1 開催日	平成24年3月22日（木曜日）		
2 開会及び閉会	開会	16時40分	
	閉会	17時30分	
3 出席委員	委員長	柳原正文	
	委員	渡辺勝志	
	委員	塩田澄子	
	委員	曾田佳代子	
	委員（教育長）	山脇健	
4 会議出席者			
職名	氏名	職名	氏名
教育次長	森本茂	教育次長	水野博宣
統括審議監	鈴木康義	審議監（学校教育担当）	福島治子
次長（人事財務課）	佐々木辰昭	学事課長	山本孝治
5 議題及び結果			
第10号議案 岡山市教育委員会事務局等職員の人事について	原案可決		